

「第2の人生！専門的農業者へチャレンジ」

—大規模遊休農地積極活用による—

事業実施主体名	高見 利洋		住 所	大山町
プラン認定日	平成18年7月5日	プラン期間	平成18年～平成20年	

1 プラン内容

(1) 概要

50歳の時に早期退職して就農した。町内の耕作放棄地を積極的に活用してブロッコリーの栽培規模を拡大し、農業で生活できる経営を行い、産地の維持拡大及び地域農業の発展に寄与する。

(2) 取り組みポイント

- 遊休農地を積極的に利用した規模拡大と育苗ハウス整備による計画的育苗を行い、町特産ブロッコリーの周年栽培を行う。
- 機械の整備によって作業の効率化を図る。
- 退職者として地域のモデル農業者になるとともに、第2の人生に農業を目指す者の育成に貢献する。

(3) 事業の概要

年度	内 容	事業費 (千円)	補助金額(千円)	
			県	市町村
H18	トラクター 23ps 1台 管理機 1台 育苗ハウス 6m×30m 1棟	4,207,334	1,402,000	702,000
合 計		4,207,334	1,402,000	702,000

2 プラン実施状況

(1) 労働力、経営内容

	認定時 (H17)	現 状 (H24)
労働力 (雇用)	3人 (30人役)	4人 (30人役)
経営内容・規模	初夏ブロッコリー 0.2ha 秋冬ブロッコリー 1.1ha 梨 0.6ha 水稲 0.5ha	初夏ブロッコリー 1.5ha 秋冬ブロッコリー 3.5ha 梨 0.4ha 水稲 0.6ha

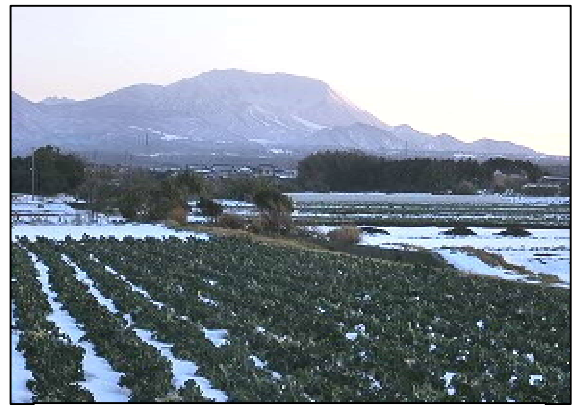
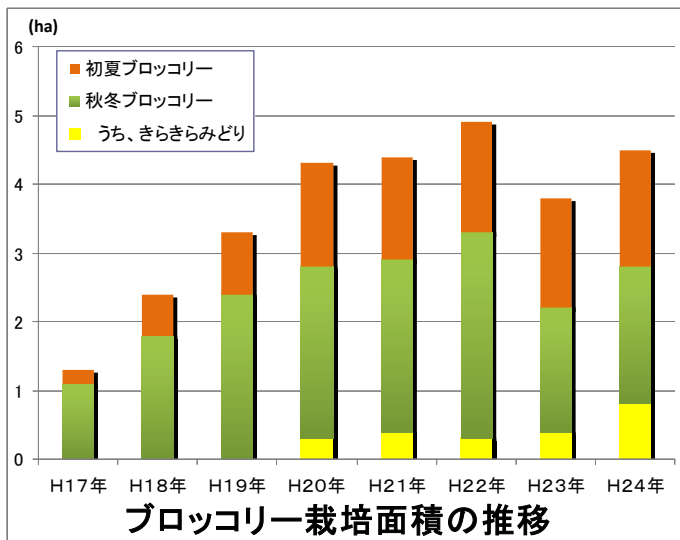
(2) 成果

ア プラン目標に対する実績

- ・兼業農家からの退職後就農として、モデル的な存在となっている。
- ・地区内外の遊休農地を積極的に再生、活用し、栽培面積を増やしている。
- ・ソルゴーの作付け、すき込みにより計画的に土づくりを行い、ブロッコリーの安定生産につなげている。
- ・きらきらみどり (化学肥料を7割削減して栽培し商品の硝酸イオンが基準濃度を下回るおいしくて環境にもやさしい JA 鳥取西部の独自ブランドのブロッコリー) の生産を徐々に拡大し、平成21年にエコファーマーとして認定され、環境にやさしい農業を実践している。

(単位: ha)

年度	H17	H18	H19	H20
目標面積	1.3	2.4	2.9	3.3
実績面積	1.3	2.4	3.3	4.3



雪害により H23 年は面積減となった

イ 経営改善の実績

- ・根こぶ病が発生したほ場に対して徹底した対策を行い克服している。
- ・良品生産のために土壌分析を積極的に行いほ場ごとの特性を踏まえた土づくりを行って良品生産につなげている。
- ・雪害リスク回避のために作型を工夫し、標高差を利用した合理的な作付け体系を実践している。
- ・以上のように常に自己の課題を分析し、対策を徹底している。このように農業に対する真摯な姿勢を、これから退職就農を考える人におおいに参考にしていただきたい事例である。

[西部総合事務所農林局]